

Profile プロフィール

高田 泰治 / Taiji Takata (鍵盤楽器奏者)



2002年神戸新聞松方ホールにてテレマン室内オーケストラとともにピアノ、フォルテピアノ、チェンバロのそれぞれの協奏曲を一夜で演奏するという公演にてデビュー。フォルテピアノのソロ活動としては2010年NHK「クラシック倶楽部」にてモーツァルト作曲ピアノ協奏曲 第12番をフォルテピアノで好演し話題となる。また同年4月よりモーツァルト作曲の1台のためのピアノ協奏曲全曲を3年のスパンで演奏するシリーズを開始し注目を集める。

2012年6月24日NHKFM「リサイタル・ノヴァ」で、モーツァルトほかC.P.E.バッハの作品を好演。チェンバロのソロ活動としては2011年5月に「バッハ・アルヒーフ」(ライブツィヒ)の主催する定期演奏会に出演(日本人鍵盤奏者としては初めての招聘)し好演。10月には同公演と同じ曲目を収録したCDをライブノーツよりリリース。

現在はバロックヴァイオリンのU.ブンディースとデュオを結成しドイツでも演奏活動を展開中。2014年、ポツダムでの公演は「軽やかな手首の動きで流れ落ちる滝のごとく、はじけ滴る雫のごとくまた時には滔々と流れる大河のごとく銀色に煌めく音を生み出してゆく。」(Potsdamer Neueste Nachrichten誌)と評された。

フォルテピアノとチェンバロをC.ショルンスハイムに師事。また2012年よりA.シュタイアーに、2013年よりO.ポーモンに師事。2013年4月にはU.ブンディースとのデュオのCDをリリース。平成23年度坂井時忠音楽賞受賞。2014年には中之島中央公会堂(大阪市)にて、ベートーヴェンのピアノ協奏曲全曲公演(全3夜)を好演。2015年U.ブンディースとの2枚目のデュオと、フォルテピアノ・アルバムを、2016年には4つの古典鍵盤楽器を使用した「うつろい」をリリース。平成28年度 咲くやこの花賞《音楽部門》受賞。

♪チェンバロとは？

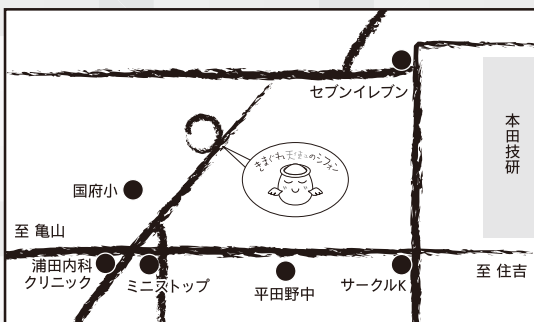
17、18世紀にもっとも重用された鍵盤楽器。「チェンバロ」はドイツ語。そのほかに「ハープシコード」(英)、「クラヴサン」(仏)、「グラヴィチェンバロ」(伊)、「クラヴェ」(西)…と国によって呼び方は異なります。

外見はピアノに似ていますが、ピアノがハンマーによって弦を叩く「打弦楽器」であるのに対し、チェンバロは弦を爪ではじく「撥弦楽器」。そのルーツも発想も全く異なります。「レジスター」と呼ばれる様々な音色の変化を楽しめる機構も備えています。バロック音楽の時代には、大きな音や強弱よりも、一つ一つの音の表情や音色を大切にしていたので、チェンバロのような楽器が活躍しました。



♪チェンバロの鍵盤が黒いのは何故？

18世紀、ヨーロッパの貴族の女性のたしなみとしてチェンバロを演奏することが流行しました。白い肌が美德とされたこの時代。女性達は顔だけではなく手にもたくさんの白粉をはたいています。そんな女性達の手がより白く美しく映えるようにチェンバロの鍵盤を黒色にしたという説があります。



『きまぐれ天使ユのシフォン』
鈴鹿市国府町2271-1 (モリサイクルショップ向かい)

ご注文はこちら→
お店携帯へ

080-9488-8100



鈴鹿の名物オカンが作る、
保存料不使用のふわふわシフォンケーキのお店

きまぐれ天使ユのシフォン

★シフォンケーキメニュー

- ・プレーン
 - ・フレーバー各種 (オレンジ・紅茶&レモン・ココアマーブル などなど)
- ※季節限定もあります。

★定休日: 毎週木・金曜日

★営業時間: 朝10時~売り切れ次第終了。看板が出ていたら営業中です。
※手作りのため数に限りがありますので、売り切れの際はご容赦下さい。